

安全大会

基本ルールの徹底を

前田道路関西支店

前田道路関西支店は20日、大阪市北区のザ・リッツ・カールトン大阪で2024年度安全大会を開いた



写真。同社や協力会社から175人が参加し、全員が災害撲滅に向け決意を新たにしました。

冒頭、佐々木伸人執行役員支店長は「労働災害防止のための基本ルールを徹底し、安全に対する共通認識を強く持って、事故、災害ゼロを目指してほしい。社員と協力会社、現場の作業員が一致団結し、各自が当事者意識を持つことでさらなる安全意識の向上につなげていきたい。これから厳しい夏場を迎え、現場の作業はますます過酷になると懸念される。熱中症対策にも力を入れ安全と健康に留意してほしい」と訴えた。

来賓として出席した守安弘周常務執行役員技術本部

長は「事故を防ぐには一人作業の禁止や作業手順の順守を徹底し、安全指針を守ることが大切だ。安全は与えられるものではない。一人一人がルールを守ること、自分自身の安全を守ることにつながる。関係者全員で力を合わせて取り組んでいこう」と呼び掛けた。

本店安全環境品質部の山本淳副部長のあいさつに続き、安全表彰で協力会社6社に賞状を授与するなどし